

けいせん



2012. 12. 18

職員室で仕事をしていると、外で遊んでいる子どもたちの会話がたくさん聞こえてきます。

けんかをしたりしてしょうか。「ゆるさない！」という強い言葉が耳に入りました。その口調から、くやしきもどかしきも伝わってきます。思いがあるからこそ、一生懸命やっつからこそ、相手のまちがいやけいせいがゆるせない、その気持ちもよくわかります。

ふと、『つやのまるちゃん』(至光社)のマルチンの言葉が浮かんできました。「ゆるすってことは おすかしいけれど とてもたいせつなことのようだ」そう、ゆるすことは 赦すこと(赦すこと)とても おすかしいことです。ゆるされる喜びも知っているはずなのに。

今年も、子どもたちと共に、保護者の皆様とご一緒にクリスマスのお祝いをする事ができた恵みに感謝です。子どもたちは、それぞれの表現でクリスマスの喜びを表してくれました。お母様方にも、本当のクリスマス イエス様のお誕生をお祝いする、ということが伝わったのではないかと思います。

神様は 私たちの罪をゆるすため、十字架につけるため 独り子イエス様をくださいました。私が洗礼を受けたクリスマス、讃美歌Ⅱ 219 さやかに(まははきらめきの2節「われらの重荷をいらい やすきをたまるためにときたれる 神の子なり」とうたいながら、そのことを感じてことを 今も覚えています。私の重荷をいらいくださる... とても心にひびきました。

今年も残りわずかとなりました。年末に限らず日々忙しいと、どうしても自分のことばかり。ゆるすどころか 相手を思いやったり 思いをよせたりすることがおすかしい(は)仕方がないもの。でも、そんな時だからこそ、そしてクリスマスを迎える今だからこそ、ゆっくりと心を整えたい、まわりの人のことにも思いをよせたい、思いめぐらせる心の余裕をもちたい、いやもたせてくださいと祈ります。

私も(私も)ゆるされている、そのことを 忘れずに、感謝して 子どもたちとまわりの人と、家族とクリスマスをお過ごし、新しい年を迎えられたら、と思っています。

皆様どうぞ、うれしいあたたかいクリスマス、新年をお過ごしください。お一人おひとりの上に 神様の祝福がゆたかにありますように 心よりお祈りしています。

